

瀬戸商工会議所

中期アクションプラン

(2020・4～2023・3)

【スローガン】

『地域経済の持続的発展を目指して』

令和2年4月

ごあいさつ

近年、会員企業を取り巻く環境は、労働力不足への対応や高齢化・後継者不足等からなる廃業や統合への移行など、厳しい状況にあります。また、商工会議所におきましても、昭和56年の2,676名の会員数をピークに、徐々に減少傾向にあり、令和1年12月末の会員数は、1,961名となり、減少傾向に歯止めがかからない状況になっています。

このような状況の中、より会員に親しまれ、かつ、力強い商工会議所を目指すため、平成31年4月に、今後10年間の事業活動を行うための指針となるべく長期ビジョンの策定を行いました。

今回長期ビジョンの各項目について着実に遂行するために、それぞれ数値目標を掲げた中期アクションプランを策定しました。期間は役員・議員の皆様の任期である3年間（令和2年4月～令和5年3月）を考えており、各種事業に着手してまいりたいと思います。

なお、事業の進捗状況をPDCAサイクルを繰り返し行い、継続的に見直しを図りながら柔軟かつ積極的に取り組んでいきます。

事業実施に向けて、役員・議員並びに会員の皆様のご理解、ご協力をいただきたくご支援のほどよろしく申し上げます。

令和2年4月

瀬戸商工会議所
会頭 河村誠悟

中期アクションプラン

I 商工会議所機能の強化

(経営者の良きパートナーとして生き生きとした地域社会を目指そう！)

(1) 組織基盤の強化

①委員会、部会活動の活性化

積極的に各委員会・部会を開催し、陳情・要望事項の取り纏め並びに商工業に関する調査研究及び視察会開催などに取り組みます。

②会員増強の推進

役員・議員・会員及び関係機関の協力も得ながら、新規会員加入キャンペーンを積極的に行い、令和4年度末までに会員数2,100件を目指します。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
会員数	2,000件	2,050件	2,100件

③会員サービスの強化

多種多様な会員ニーズを事業に取り入れ、会員サービスの強化を図ります。また、令和2年度に瀬戸商工会議所ホームページをリニューアルし、会員がより活用しやすくなるようにします。

④情報発信力の強化

会議所ニュース及びメールマガジンの内容の充実を図ります。また、会議所入口に設置した大型モニターを活用し、働き方改革関連事業など会員に有益になる最新情報について随時提供し、情報発信を強化します。

(2) 財政基盤の強化

①自己財源の確保

新規会員加入キャンペーンなどを行い、令和4年度末までに会費額収入が4,400万円になるよう目指します。また、業務内容の見直し及び効率化を積極的に行い、経費の削減も行います。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
会費額	4,270万	4,340万	4,400万

②共済事業の推進

積極的なキャンペーンを展開し令和4年度末までに3,400万円の手数料収入を目指します。なお、生命共済の加入事業所及び保有口数を令和4年度末までに720事業所、3,450口加入を目指します。また、特定退職金共済制度の普及に向けても努力をします。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
共済手数料	3,300万	3,350万	3,400万
生命共済件数	700件	710件	720件
生命共済口数	3,350口	3,400口	3,450口

(3) 商工会議所としての事業継続

①商工会議所会館の老朽化への対応策についての検討

総務委員会に諮りながら令和4年度末までに今後の会議所会館の方向性を決定します。

スケジュール

令和2年度 近隣新会議所会館視察・見積もりなど総務委員会にて検討

令和3年度 総務委員会にて継続検討

令和4年度 方向性決定

②商工会議所の事業継続計画（BCP）の策定

各地域で過去の想定を上回る災害が発生しており、令和3年度までに商工会議所のBCP策定を目指し、並行して各事業所のBCP策定支援なども積極的に行っていきます。

スケジュール

令和2年度 職員プロジェクトチームにて原案作成

令和3年度 承認・完成

③商工会議所職員の資質向上

研修等へ積極的に参加し、多種多様な事案に適切に対応するための職員の資質向上を図ります。また、他団体との人事交流も検討し、さらなる資質向上を図っていきます。

II 中小・小規模企業の支援

(元気で働きがいのある企業を次世代に繋げよう！)

(1) 伴走型事業の推進

①専門家を活用した課題解決提案型支援の深耕

中小事業診断士・税理士・社会保険労務士などの専門家派遣により事業者に対し個別相談を行い課題解決の支援をします。

②経営指導員等のスキルアップを図り幅広い経営上の問題に対応するための人材育成

専門家研修への積極的な受講を行い、各経営指導員等のレベルに合ったスキルアップを図ります。また、Web研修を視聴し専門的な知識を学びます。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
参加研修数	20	22	24
参加人数	25	27	29

(2) 経営力強化の支援

①多様な要望に応じた講習会の実施

多種多様な講座内容を企画し事業者への要望に対応します。また、時間や場所を自由に選べるWebセミナーの受講を推奨しアクセス数の増加に努めます。

Webセミナーを事業者へ周知するため毎号会議所ニュースへの掲載やホームページのリニューアルにおいてWebセミナーをよりPRできるよう工夫し、事業者及び従業員の利用や企業での社員講習等の活用を推奨していきます。

② 専門家との連携による個別相談会の実施

金融相談・税務相談・特許相談・法律相談・経営相談・パソコン活用相談を開設して相談事業者の経営力強化を図ります。さらに、働き方改革や事業承継など時代に合った専門相談を積極的に開設します。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
相談会回数	160	165	170
相談会参加者数	240	250	260

③ 消費税軽減税率制度導入と消費税転嫁対策に関する支援

個別相談窓口の開設やセミナーを開催し、消費税の実務の周知徹底を図ります。また、令和5年10月1日から実施される「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」の内容を周知するため、セミナーや個別相談を開催します。

(3) 円滑な事業承継への取組支援

① 瀬戸地域プラットフォームを活用した連携先との積極的な事業支援

連携先と年2回以上会議を開催し情報共有を図ります。事業者が望む各種セミナーや個別相談を行い、事業者の円滑な事業承継を支援します。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
相談件数	50	55	60

② 地場産業におけるM&Aを含めた集中的な支援による技術の伝承

各組合と連携して事業者の内容に合った専門家の派遣などにより個別対応をします。

③ 後継者など若手経営者が長期的に事業継続できるよう集中的な支援の実施

若手経営者が広く経営を学ぶことのできる「若手後継者育成塾」（仮称）を年1回開催し、その後個別に相談に応じ支援を行います。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
参加人数	10	12	14

(4) 展示会出展など販路開拓支援

① 日本商工会議所などからの情報を活用した多種多様の業種に対しての展示会出展など販路開拓支援

会議所ニュースやHP、メールマガジンなどで展示会出展の情報提供を行い販路開拓の支援を行います。

② 事業者の要望にあわせたピンポイントの展示会出展支援を行い、事業計画支援も含めた販路開拓支援の実施

大都市圏への出展を企画し、販路開拓を商品のデザイン・梱包・機能性などの改善も含めて支援します。また、新商品の開発についてもセミナーなどを開催していきます。

Ⅲ地域活性化の推進

(活力ある地域経済と豊かで安心なくらしが実感できる街を目指そう！)

(1) 地場産業の振興

①せともの祭、せと陶祖まつりのブラッシュアップ

ワーキンググループ会議を積極的に開催し、せともの祭は2022年加藤民吉生誕250年に向けてテーマ性を持った事業の検討と、せと陶祖まつりは集客アップに向けて取り組みます。

②瀬戸の食と器のコラボレーション事業の推進

市内小学校を中心に瀬戸の食と器のコラボレーション事業を授業に取り入れてもらい、地域ぐるみで事業の推進を図ります。今まで開催してきた瀬戸焼検定を検証し新たな瀬戸焼検定実施に向けた研究を行います。

③着地型（滞在型）観光の促進

旅行会社などと連携し滞在型観光の充実を図るため、令和2年度から4年度にかけて新たな観光ルートの開発などの調査期間とし、将来の足掛かりとします。また、ジブリパークの開業を見据えた瀬戸市内への誘客方法や瀬戸の名物となる土産品の開発、駅周辺へのホテル誘致などについても関係機関との連携を図りながら調査研究し中心市街地の活性化も図り観光客への対応を検討します。

(2) AI/IoT時代に対応したまちづくり

①フリー Wi-Fi スポットの推進

瀬戸商工会議所会館において令和2年度にフリー Wi-Fi 環境を整え、会館利用者に対してのサービス向上に努めます。

②クラウド会計導入、商取引のキャッシュレス化の推進

事業者のクラウド会計導入の指導を適切に行い、キャッシュレス化についても商店街を含めセミナー等を開催し積極的な支援を行います。

③商業、サービス業における人材不足を補うロボット、AI/IoT 技術の導入の推進

積極的な情報収集を行い、周知を図るため、他地域等とも連携しセミナー等を実施します。

(3) ツクリテ支援の推進

①陶磁器産業のブランド化を推進し付加価値の高い産業への転換支援

専門家派遣などを通じて高ブランド化に対する事業計画書策定支援や首都圏などの展示会出展の支援を積極的に行います。

②やきものやガラスなどの分野で活動する若手作家職人が瀬戸市で事業活動が定着できるよう活動支援

若い作家やアーティストなどのツクリテが活躍できるよう伴走型にて個社支援を行い、それぞれの課題に対して解決できるよう支援を行い、瀬戸市で事業活動が定着できるよう促します。

③せとまちツクリテセンターと連携したツクリテ支援

せとまちツクリテセンターと連携し、作家等の事業化や事業承継、販路拡大を支援し、せとものやものづくりの歴史を背景としたアートやクラフトのまちとしての個性を伸ばしていけるよう取組みます。

(4) 起業・雇用促進事業の推進

①起業者が長年事業継続できるための支援サポートの徹底

起業者が数年で廃業してしまうケースが多いため、長年事業継続できるよう専門家派遣なども行い、伴走型支援を行います。

②せと・しごと塾などと連携した起業支援

せと・しごと塾や当所主催の創業塾の受講者などに対して他の支援機関とも連携して起業支援を積極的に行います。また、起業5年以内の事業者にも継続して支援を行います。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
相談件数	150	160	170
開業者数	30	35	40

③瀬戸市出身者が瀬戸市内に就職できる情報発信

瀬戸・尾張旭雇用対策協議会などと連携し、Iターン、Uターン、Jターン希望者が瀬戸市内に就職出来るよう、また瀬戸市が実施する移住支援金の活用も周知するなど、積極的な情報発信を図ります。

④積極的な働き方改革及び障がい者雇用の推進サポート

瀬戸・尾張旭雇用対策協議会などと連携し、セミナーの開催や先進地視察などを通じて働き方改革及び障がい者雇用について積極的に推進します。

(5) キャリア教育および産業人材の育成

①小学校から高校までの学校、行政、企業等によるキャリア教育支援

瀬戸キャリア教育推進協議会などと連携し、職場体験の受入れと支援及び小中学校でのキャリア教育講座実施など、特色のあるキャリア教育支援を行います。

②次世代の産業人材（システムインテグレータ等）の育成

需要に合わせたセミナーなどを開催し、次世代の産業人材の育成を図ります。それにより会員企業の投資意欲を促がし、将来的に企業誘致に繋がる足掛かりとします。